

# 宮地のたから



八代市立宮地小学校

校長 村本 恭子

「み」みんななかよく 「や」 やりとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばるみやじっ子

## 全校集会 ～子供たちに伝えたいこと～

宮地小学校では教育活動の中で機会を捉えて「やつしろスピリッツ」(あいさつ・ききかた・そろえかた)について子供たちに話しています。今回も全校集会で話をしました。「自分からすすんであいさつをする」ことは宮地小の子供たち、ずいぶん定着してきました。朝の登校指導で立っていると、遠くから「おはようございます」の大きな声が響いています。保護者、地域の方に褒めていただくこともありました。「はきものそろえ」はトイレのスリッパについて話しました。次の人が困らないよう、使いやすいように考え、並べる姿が見られます。はきものそろえができる人は他者への思いやりがある人です。また、自分の行動を振り返り「後始末」ができる人です。人が社会の中で生きていく上で思いやりや優しさ、自分の行動を振り返ることは大切なことです。こんな子供の姿を目指して学校では日々の指導に取り組んでいます。「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」これがこの1学期を振り返ってまだ課題として残っています。学力の定着のためにも、コミュニケーション力を向上させるためにもまずは「聴くこと」の定着に向け継続した指導を続けていきます。

## みやじ学

宮地小、八中の特色ある教育活動の一つです。

「子供たちが自分の生まれ育ったふるさと「みやじ」の「歴史」「人権」「自然」のテーマについて体験学習等を通して学び、これまで受け継がれてきた生活文化や人々の豊かな心を引き継ぎ、ふるさとを誇りに思う郷土愛を育む」ことを目指しみやじ学を実施しています。小学5、6年生と中学1年生が対象です。

「歴史」では妙見宮と宗覚寺、「人権」では西宮・上日置集会所、とら太、「自然」では水無川の水質、宮地和紙について学びます。

得た情報を整理・分析したり知識や経験と結び付けたりして思考し、その過程での疑問や気付きについて更に深く調べたり講師に尋ねたりする主体的な学習を通して、自己の生き方を考える子供の姿を目指します。

宮地小ホームページでも紹介しています。ぜひ御覧ください。



写真上

「人権」フィールドワークで歩きながら説明を受ける子供たち

写真右「環境」水質調査を行う子供たち



2024/06/27 09:49



写真上

「歴史」妙見宮を見学しながら、説明を聞く子供たち